

Course number		U-LAS27 10002 SJ48						
Course title (and course title in English)		朝鮮語 I A（演習） K1201,K1202 Primary Korean A			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,OGURA KIZOU	
Group	Languages			Field(Classification)				
Language of instruction	Japanese			Old group	Group C		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)			Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Thu.3/Fri.4		Target year	All students		Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]								
朝鮮語は日本語と文法構造がよく似ている言語であり、語彙も特に漢字語は日本語と共通のものが多いため、習得しやすい外国語である。しかし「ハングル」という見慣れぬ文字で表記されている上、発音が複雑なので、文字と発音の基礎はみっちりトレーニングする必要がある。 この授業ではまず朝鮮語の文字と発音を正確にマスターし、次に朝鮮語の文法を段階的に習得しつつ、朝鮮半島の文化・社会・歴史などに関する知識を身につけながら、それに関連した表現方法を運用する能力を養うことを目的とする。 【注意】本学で「朝鮮語」というのは、朝鮮半島すなわち韓国（大韓民国）と北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）で使用されている言語のことである。この両国で使用されている言語には若干の相違が認められるが、大差はない。なお、特に韓国で使用されている言語を指すときには「韓国語」という呼称を用いる。								
[Course objectives]								
①朝鮮語の文字と発音を正確にマスターする。②朝鮮語の初歩の文法を段階的に習得する。③朝鮮半島の文化・社会・歴史などに関する知識を身につける。④初歩的な表現方法を運用する能力を養う。								
[Course schedule and contents])								
授業は毎回、配布されるプリントの内容に則って進められる。特に最初の段階では文字と発音を正確に習得することが要求される。 文字と発音の練習をおよそ5回ほどの授業で終えた後は、この言語を使用する人たちが暮らす朝鮮半島の文化・社会・歴史などについて学び、考えながら、言語を習得してゆく。 第01回 ハングルの文字と発音1 第02回 ハングルの文字と発音2 第03回 ハングルの文字と発音3 第04回 ハングルの文字と発音4 第05回 ハングルの文字と発音5 第06回 朝鮮半島の文化1 第07回 朝鮮半島の文化2 第08回 朝鮮半島の社会1 第09回 中間試験 第10回 朝鮮半島の社会2 第11回 朝鮮半島の歴史1 第12回 朝鮮半島の歴史2								

Continue to 朝鮮語 I A（演習） K1201,K1202(2) ↓ ↓ ↓								

朝鮮語ⅠA（演習） K1201,K1202(2)

第13回 朝鮮半島の政治・経済・日韓関係1
第14回 朝鮮半島の政治・経済・日韓関係2
第15回 試験

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

成績評価は、平常点、中間試験および定期試験によって行う。成績評価基準の詳細については、授業中に説明する。

[Textbooks]

Not used

プリントを配布する。

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回のプリントの文章を訳すだけでなくすべて丸ごと暗記する。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]